

# 年頭のごあいさつ

黒潮町長 大西勝也



新年明けましておめでとうございます。住民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平成24年末の政権交代で誕生した安倍内閣による経済対策によって、都市部では景気回復が実感されはじめ、為替は過度の円高が解消されつつあり、株価も上昇、あわせて全国的に景況感は上向きとの報告もされました。しかし地方においては、まだまだ一部の業種を除き景気回復を実感するまでには至っておりません。今年には本格的な地方の景気回復に期待をするところです。

東北地方に未曾有の被害をもたらした東北地方太平洋沖地震からはや3年が経とうとしています。

今なお多くの方が深い悲しみや喪失感とともに避難所生活を強いられている状況を考えると、自然災害の脅威を感じずにはいられません。今後、あの震災の経験を広く共有し、教訓として近い将来必ず起こる南海トラフ地震対策に最大限に生かすことが私たちの責務です。

平成24年3月31日に内閣府から衝撃的な新想定が示された当初は混乱もありましたが、それでもあきらめず、課題にしっかりと向き

## 笑顔で暮らせるまちに

合っていたいただいた住民の皆さまに心より敬意と感謝を申し上げます。国においても、昨年11月に、待望の『南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法』が成立し、当町の防災施策の強力な推進力になることが期待されます。今年も引き続き住民の皆さまとの対話を大切にしながら、全力で防災対策を進めてまいります。

また、昨年は黒潮町の新たな福祉ネットワーク構想の核となる3

施設目のあったかふれあいセンターが開設しました。引き続き社会福祉協議会、施設職員、ボランティアの皆さまならびに地域の皆さまと連携を密に、できるだけ早期に全町域をカバーできるネットワークを構築し、誰もが住み慣れた地域で、健康で笑顔で暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

本町が抱える課題は教育から産業に至るまで多岐にわたり、簡単に解決できるものではありません。

しかし、先人への感謝と将来世代への責任を忘れず、住民の皆さまとの対話を大切に、一步一步、歩を進めてまいりたいと思います。住民の皆さまにおかれましては寒さ厳しい折、くれぐれもご自愛いただき、町政発展のためより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

今年一年が皆さまにとりまして平穏で幸せな年となりますことを祈念し、新年のごあいさつといたします。